



関台だより

平成31年11月1日発行
第9号(11月号)
発行者 校長 相原 雄三

教育目標 ○よく考えてやりぬこう ○なかよく助け合おう ○つよい心とからだをつくろう

「ありがとう」と言うわけ

校長 相原 雄三

毎朝、校門に立ち、子供たちに「おはようございます」と挨拶をする。すると、子供たちからも帽子をとりながら「おはようございます」と挨拶が返ってくる。私は、「挨拶してくれて、ありがとう」と返す。さらに、当番の子供が、「失礼します。健康カードを届けに来ました」と言って職員室のドアを開ける。私は、「丁寧な言葉遣いで気持ちいいよ。ありがとう」と声をかける。また、清掃の時間、掃除をしている子供に会うと、「きれいになったよ。助かるよ、ありがとう」と声をかける。私は、「ありがとう」という言葉が好きだ。なぜ、その言葉が好きなのか。

今から20年ほど前に、アドラー心理学をベースにして書かれているある本に出合った。その本の一節に「褒めることは、縦の関係に基づいていて、競争原理を喚起」するとあった。私は、どちらかという子供を褒める方だ。子供の自己肯定感や自己有用感を育みたいと思うからだ。しかし、そういった意図とは裏腹に、子供は褒められる存在にならなければならないという焦りや競争心を生む可能性

があるというのだ。これには、私自身驚いた。

一方、「ありがとう」という言葉は違うという。「ありがとう」は感謝の気持ちの表現だ。感謝は、他者との比較や競争を生まない。その行為が他者と比較して優れていたかどうかを問う必要がない。「気持ちいいよ、ありがとう」「おかげで助かった、ありがとう」という思いは、相手を共に歩む仲間として認め、同じ方向を向いて協力していこうとする気持ちを示す。「ありがとう」は、仲間意識や共同意識を生むというのだ。

この考えは、子供たちとの生活の中で、「ありがとう」という言葉がけをよくしていた当時の私の心に深く響いた。そして、今も、「ありがとう」と言うわけの一つとして大切に思っていることである。

子供たちに、「ありがとう」「助かったよ」と言えることが、学校生活をよりよくしていこうとする仲間意識や共同意識を子供たちに育むということを感じて、いつでも、いつまでも、心を込めて「ありがとう」と言える自分でありたい。そして、もちろん、子供たちを褒めることも大切にしていきたい。

11月行事予定表(20日)

日	曜	行 事	SC来校日	放課後遊び
1	金	自然体験教室(4)		
2	土	小P連バレーボール大会 こども広場		
3	日	文化の日 こども広場		
4	月	振替休日 こども広場		
5	火	安全指導・安全点検 自然体験教室予備日	◆	
6	水			
7	木	体育朝会(高)	◇	○
8	金	クラブ活動⑦		
9	土	音羽中開校10周年記念式典 こども広場		
10	日	こども広場		
11	月	全校朝会 学習教室⑤		○
12	火		◆	○
13	水			
14	木	学習発表会前日準備	◇	
15	金	学習発表会		
16	土	学習発表会		

17	日	こども広場		
18	月	振替休業日 こども広場		
19	火	避難訓練	◆	○
20	水			
21	木	体育朝会(低) 関台キッズ⑥ クラブ活動⑧(2学期最終)	◇	○
22	金			
23	土	勤労感謝の日 こども広場 小P連卓球大会		
24	日	こども広場		
25	月	全校(音楽)朝会 個人面談①		
26	火	個人面談②	◆	
27	水	個人面談③		
28	木	連合音楽会(5)	◇	○
29	金	個人面談④		
30	土	こども広場		

※スクールカウンセラー(SC) ◆川島先生 ◇鈴木先生

自分からすすんで元気に「挨拶」に取り組もう

第2学年担任 西川 桃子

関台小では、「あいさつ・返事・ルールを守る」を指導の重点としています。特に朝に気持ちのよい挨拶をすることで、明るく元気な一日を始めることができます。相手の目を見て挨拶をすること、自分からすすんで元気に挨拶することを目標に、学校全体で指導を行っています。

11月は、本校では「あいさつ月間」です。ご家庭でも、朝起きたときや、家に帰ったときなど、明るい挨拶をしていただければと思います。

◇ 11月の生活目標 ◇

「気持ちをこめてあいさつをしよう」

オリンピック・パラリンピック教育について

第4学年担任 矢野 篤彦

4年生が6社の新聞を使って、オリンピックやパラリンピックに関する新聞記事を切り抜き、その記事に対するコメントを付箋に書く活動を行いました。

はじめは、机の上で大きな新聞を開いて読むのにも一苦労していた子供たちですが、スポーツ欄を中心に次々に関連記事を見つけ、切り抜き作業に夢中になって取り組んでいました。

子供たちがコメントした記事の中には、ラグビーのW杯に出場する外国の選手を迎え入れる地域の人々の活動などがありました。この取組を通して、世界中の様々な人々を受け入れて、おもてなしをしようとする意識が、子供たちの中にも根付き始めていることを大変嬉しく思います。

記事とコメントは、保健室横の掲示板にあります。来校した際には、ぜひご覧ください。

学習発表会に向けて

学習発表会実行委員長 石川 智子
(図工専科)

今年度も学習発表会の季節になりました。各学年とも発表に向けて、役や分担を決め、練習に励んでいます。また展示の部では、それぞれの思いを込めた図工の作品を展示できるよう、いつも以上に気持ちを入れて制作しています。

子供たちの一年間の成長が見られる機会ですので、ぜひ皆様でご来校ください。

★11月16日(土) 学習発表会 保護者鑑賞日

◇1~3年生は、5時間授業です。(下校時刻14時10分頃)

◇4~6年生は、6時間授業です。(下校時刻14時50分頃)

※ 全学年、給食あります。

学校TOPICS

読書旬間と本の寄贈について

図書主任 永澤 永子 (第2学年担任)

関台小では、学校図書館の充実とともに、「図書ボランティアの活動」や「“ゆずりは”の読み聞かせ」「読書旬間の取組」などを通じて、読書活動の推進を図っています。

学校図書館(図書室)には、たくさん本があります。今話題の本から、往年の名作、絵本や図鑑、料理や手芸の本、科学の本など様々あり、約9000冊の蔵書があります。本校は本が好きな子供が多く、休み時間になると多くの子供たちが図書室にやってきます。

11月25日(月)から12月6日(金)まで、毎年恒例の「読書旬間」を実施します。「読書旬間」では、様々なイベントが行われ、図書委員が作ったしおりを景品にしたキャンペーンをしたり、図書ボランティアの皆さんが読み聞かせをしてくれたりします。本が大好きな子供たちだけではなく、日頃、あまり本を読まない子供もこの期間は図書室に通い、読書旬間のイベントを楽しんでいる様子が見られます。ぜひ、これを機会に、親子でたくさん本を手にとってみてはいかがでしょうか。

また、本校の卒業生の方からは、毎年、本の寄贈をいただいております。その方は、関台小の子供たちのためにと、39年間にわたってたくさん本を寄贈してくださっています。それらの本は、バーコードやラベルを貼ったり、ブックカバーをかけたたりして、図書室の本棚に並べています。寄贈していただいた本は、今の子供たちが読みたくなるような本ばかりで、本棚に並べるとすぐに貸し出されていきます。ほかにも、PTAの方などからも本を寄贈していただいております。関台小の子供たちは幸せです。心より感謝申し上げます。

